

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施期間	平成22年度～平成26年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>（ひだか）</small> 日高森林計画区 （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 <small>ひだかほくぶ</small> 日高北部森林管理署
完了後経過年数	5年		管 理 主 体	日高北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部から南部に位置し、日高振興局管内の2町に所在する国有林野約102千haを対象としている。</p> <p>人工林面積はその約11%にあたる約11千haを占め、そのうち間伐の対象となる林分が約85%となっている。今後は主伐対象となる林分も増え、更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域内の国有林野は、水源かん養を目的とした保安林を主体にほぼ全域が保安林に指定され、地域の生活用水及び農業用水を供給するほか、水力発電用のダムが多く立地していることから、水源林としての重要な役割を担っている。特に、本地域下流の沿岸部では、貴重な本シヤマモの漁場<small>ほろしりだけ</small>となっており、河川の水質を巡って森林整備に対する期待が高まっている。さらに、幌尻岳をはじめとする山岳地域や豊かな森林景観等の観光資源にも恵まれていることから、登山等のレクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、芽室岳<small>めむろだけ</small>及び戸蔦別岳<small>とつたべつだけ</small>等の稜線部は優れた自然環境を有していることから、日高山脈生態系保護地域、日高山脈襟裳国定公園に指定され、一部は大雪山・日高「緑の回廊」として生態系保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、森林の二酸化炭素固定機能等の多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新 面積 48 ha 保育 面積 3,944 ha 路網整備 開設 延長 29.7 km 改良 延長 0.1 km</p> <p>・総事業費 1,993,140 千円（税抜き 1,886,393 千円） （平成21年度の評価時点 600,784 千円（税抜き 572,175 千円））</p>			
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和元年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価時点からの数値の変化については、補正予算により事業量が増加したことにより便益が増加、事業量の増加に伴って費用も増加、加えて人件費や資材費が上昇したことが原因と考えられる。</p> <p>総 便 益（B） 20,485,977 千円（平成21年度の評価時点：8,756,894 千円※） 総 費 用（C） 3,365,549 千円（平成21年度の評価時点：696,190 千円※） 分析結果（B/C） 6.09（平成21年度の評価時点：12.58※）</p> <p>※平成21年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>			
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養<small>かん</small>や山地保全、二酸化炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減が図られるとともに、木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。</p>			

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理されており、林況は良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに適した森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地域の経済情勢は、安定的に推移しており、地域特性を生かし全国有数の生産頭数を誇る軽種馬をはじめとして、トマト生産に代表される園芸作物生産や沿岸部での漁業といった産業が営まれている。</p> <p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中、林業就業者数は、平成17年度の119人から平成27年度には107人に減少しており、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>また、道内では大型のバイオマス発電工場が次々に稼働したほか、産業用資材の需要の高まりによって、木材需要が拡大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与していくことが求められる。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが求められる。さらに、森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって、効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により 森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(日高町)</p> <p>間伐を主体とした森林整備事業が適切に実施されたことにより、水源涵養など森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。</p> <p>今後も同事業の継続と、民有林事業者等の見本になるような国有林の整備をお願いしたい。</p> <p>(平取町)</p> <p>平取町内における国有林の占める割合は高く、間伐を主体とした森林整備は、森林の有する公益的機能の持続的発揮及び生物多様性の保全等が図られたものと評価する。</p> <p>今後においても森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう計画的な森林整備事業の継続を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養機能の発揮が求められている。更に、山地保全や地球温暖化防止対策のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 効率性・ 有効性 | <p>事業採択時に比べ、B／Cは低減したものの、路網整備においては、本地域特有の急傾斜地形及び脆弱な地質に留意した工種及び作業仕様による開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。</p> <p>また、これらの直接的な効果のほか、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じて、地域の基幹産業である農業や漁業の振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p> |
|---|---|

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成22年度～平成26年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（ひだか） 日高森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 ひだかなんぶ 日高南部森林管理署																
完了後経過年数	5年	管 理 主 体	日高南部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部から南部に位置し、日高振興局管内の4町に所在する国有林野約131千haを対象としている。</p> <p>人工林面積はその約10%にあたる約13千haを占め、そのうち間伐の対象となる林分が約87%となっている。今後は主伐対象となる林分も増え、更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域内の国有林野は、水源かん養を目的とした保安林を主体にほぼ全域が保安林に指定されており、地域の生活用水及び農業用水を供給するほか、水力発電用のダムが多く立地していることから水源林としての重要な役目も担っている。また、カムイエクウチカウシ山、ヤマだけかむいだけ、神威岳といった標高1,500mを超える高峰が連なり、豊かな森林景観等の観光資源にも恵まれていることから、登山等のレクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに、本地域では急峻な日高山脈から流れ出る各河川に沿って農業が、下流の沿岸部にコンブ等の沿岸資源に依存した水産業が重要な産業となっており、河川の水質を巡って森林整備に対する要望が高まっている。</p> <p>また、日高山脈稜線部は優れた自然環境を有していることから、日高山脈生態系保護地域、日高山脈襟裳国定公園に指定され、自然環境の維持が図られている。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、森林の二酸化炭素固定機能等の多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>121 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>6,248 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>39.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>0.8 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,870,534千円（税抜き 2,720,452千円） （平成21年度の評価時点 2,866,290千円（税抜き2,729,800千円））</p>			森林整備	更新	面積	121 ha		保育	面積	6,248 ha	路網整備	開設	延長	39.6 km		改良	延長	0.8 km
森林整備	更新	面積	121 ha																
	保育	面積	6,248 ha																
路網整備	開設	延長	39.6 km																
	改良	延長	0.8 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和元年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価時点からの数値の変化については、補正予算により事業量が増加したことにより便益が増加、事業量の増加に伴って費用も増加したが、林道の開設路線の多くがより低コストの林業専用道へ変更されたことにより費用の増加が抑えられたことが原因と考えられる。</p> <p>総 便 益（B） 28,656,737千円（平成21年度の評価時点：15,657,179千円※） 総 費 用（C） 5,646,813千円（平成21年度の評価時点：3,241,546千円※） 分析結果（B/C） 5.07（平成21年度の評価時点：4.83 ※） ※平成21年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減が図られるとともに、木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社</p>																		

	会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理されており、林況は良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに適した森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、安定的に推移しており、全国有数の生産頭数を誇る軽種馬をはじめ、肉用牛の生産や畑作農業、沿岸部ではコンブ漁に代表される漁業が盛んに営まれている。</p> <p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中、林業就業者数は、平成17年度の161人から平成27年度には201人に増加しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べて60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>また、道内では大型のバイオマス発電工場が次々に稼働し、産業用資材の需要の高まりによって、木材需要が拡大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与していくことが求められる。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが求められる。さらに、森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により 森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>にいかつぶ</small> (新冠町)</p> <p>国有林は当町に所在するダムの上流部を占めており、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。</p> <p>今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう、また、地元の雇用対策に効果が見込まれるため事業の継続を要望する。</p> <p><small>うらかわ</small> (浦河町)</p> <p>町内の森林面積のうち40%以上が国有林であり、森林整備が適切にされたことにより、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。</p> <p>今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(えりも町)</p> <p>保安林整備事業により海岸林の整備を継続的に実施したことにより、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。</p> <p>今後も事業を継続し、人工林から元々あった天然林への誘導を要望する。</p> <p><small>しん</small> (新ひだか町)</p>

	<p>国有林は、新ひだか町に所在するダムの上流部を占めており、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できます。</p> <p>今後も森林の持つ多面的機能が発揮できるよう、また、地元の雇用対策に効果が見込まれるため事業の継続を要望いたします。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養機能の発揮が求められている。更に、山地保全や地球温暖化防止対策のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 路網整備においては、本地域特有の急傾斜地形及び脆弱な地質に留意した工種及び作業仕様による開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。 <p>また、これらの直接的な効果のほか、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じて地域の基幹産業である農業や漁業の振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p>

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施期間	平成22年度～平成26年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（おしまひやま） 渡島檜山森林計画区 （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 ひやま 檜山森林管理署
完了後経過年数	5年		管 理 主 体	檜山森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の南西部に位置し、渡島総合振興局・檜山振興局管内の2市8町に所在する国有林野約114千haを対象としている。</p> <p>人工林面積はその約30%にあたる約34千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約76%となっている。今後は主伐対象となる林分も増え、更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域の国有林野のほぼ全域が水源かん養を目的とした保安林を主体に保安林に指定されており、地域の生活用水及び農業用水の供給に重要な役割を果たしている。</p> <p>本地域は、渡島半島脊梁部の南西側を、北側は乙部岳から南側の七ツ岳、大千軒岳へと続き、自生の北限とされるヒノキアスナロ、同様に南限とされるアオトドマツ、さらに日本海側における自生の北限とされるゴヨウマツ林とともに天然記念物としての指定がなされている。さらに、地理的な特性からスギ、キリの適地であるとともに、植生についてもエビネ、シュンランをはじめ森林内に多くの種類の山野草が自生するなど、貴重な自然を有している。</p> <p>また、恵山自然休養林や茂辺地自然観察教育林、縁桂・乙部岳風景林といった、レクリエーションや自然観察の場としても活用され、北海道最古の温泉「知内温泉」をはじめ、各市町ともに多くの温泉源にも恵まれている。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、森林の二酸化炭素固定機能等の多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新 面積 125 ha 保育 面積 3,240 ha 路網整備 開設 延長 43.3 km 改良 延長 0.5 km</p> <p>・総事業費 2,484,452 千円（税抜き 2,350,970 千円） （平成21年度の評価時点 2,956,275 千円（税抜き 2,815,500千円））</p>			
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和元年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価時点からの数値の変化については、保育間伐が存置型から活用型へ移行したこと及び人件費や資材費が上昇したことにより費用がかかり増しとなり、事業量全体が結果として減少したことにより便益と費用が減少したことが原因と考えられる。</p> <p>総 便 益（B） 19,538,851 千円（平成21年度の評価時点：39,862,099 千円※） 総 費 用（C） 4,637,031 千円（平成21年度の評価時点：4,254,665 千円※） 分析結果（B/C） 4.21（平成21年度の評価時点：9.37 ※） ※平成21年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>			
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減が図られるとともに、木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社</p>			

	会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理されており、林況は良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに適した森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、安定的に推移しており、農業については、水稻、馬鈴薯、豆・野菜類を中心とした生産が営まれているほか、酪農や養豚等の畜産業も営まれており、温暖な地域の特色を生かした取組が行われている。</p> <p>漁業は、日本海、津軽海峡、太平洋と特性の異なる3海域に面し、海域ごとに多様な漁業が営まれている。</p> <p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中、林業就業者数は、平成17年度の443人から平成27年度には422人に減少しており、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>また、道内では大型のバイオマス発電工場が次々に稼働し、木材需要が拡大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与していくことが求められる。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが求められる。さらに、森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により 森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(函館市)</p> <p>異存ありません。</p> <p>(北斗市)</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価します。今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を希望します。</p> <p>(福島町)</p> <p>森林整備事業の実施により、森林の持つ多面的な機能が発揮されたものと評価できる。今後も、同事業の継続によって多面的機能の維持・促進と良好な森林の形成がなされることをお願いしたい。</p> <p>(知内町)</p> <p>町内の森林の内、国有林に占める割合が高い本町において、森林整備が実施されたことは十分に評価でき、今後も同事業の継続による国有林の整備を期待する。</p> <p>(木古内町)</p> <p>国有林は町の水源地上流部にあり、森林整備が着実に実施されたことにより、森</p>

	<p>林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは十分に評価できるものである。</p> <p>今後も同事業の継続と国有林の整備をしていただき、民有林事業者等の見本となるような管理をお願いしたい。</p> <p>(江差町)</p> <p>当町内における国有林の森林整備事業は実施されていないが、本事業の着実な推進は、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の維持につながるため、今後において、当町内における、森林整備事業の実施を要望する。</p> <p>また、保健・文化・教育的な利用の場の提供を視野に入れ、森林空間を活かした総合的な整備も期待する。</p> <p>(上ノ国町)</p> <p>森林環境整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(厚沢部町)</p> <p>町内森林の8割を占める国有林において着実に森林整備が進められたことは十分評価できる。</p> <p>今後も民有林の手本となるべく事業を継続し、適切な森林整備の推進を要望する。</p> <p>(乙部町)</p> <p>乙部町の森林としては国有林の占める割合が非常に高いところであるが、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。</p> <p>今後も同事業の継続の他、レクリエーションの森〈縁桂風景林〉内の施設設備を要望する。</p> <p>(奥尻町)</p> <p>森林のうち国有林に占める割合が多い本町において、間伐を主体とした森林整備が適切に実施されたと評価できる。</p> <p>今後も適切な森林整備の実施と、民有林所有者及び事業者等の見本となるような管理、同事業の継続、教育的・文化的な森林空間を活かした総合的な国有林整備を要望します。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、都市圏の水源 地として、また、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養 機能の発揮が求められている。更に、山地保全や地球温暖化防止対策の ほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認め られる。 ・ 効率性 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況 に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施 箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じ た更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えてお り、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続き その効果が発現されるものと見込まれる。 また、これらの直接的な効果のほか、山地保全や水質浄化等の機能の 向上を通じて地域の基幹産業である農業や漁業の振興に寄与しており、 事業の有効性が認められる。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成22年度～平成26年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（おしまひやま） 渡島檜山森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 おしま 渡島森林管理署
完了後経過年数	5年	管 理 主 体	渡島森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の南西部に位置し、渡島総合振興局・檜山振興局管内の7町に所在する国有林野約144千haを対象としている。</p> <p>人工林面積はその約22%にあたる約32千haを占め、そのうち間伐の対象となる林分が約77%となっている。今後は主伐対象となる林分も増え、更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域の国有林野は、ほぼ全域が水源かん養や土砂流出の防止を目的とした保安林に指定されており、地域内の生活環境に重要な役割を果たしている。</p> <p>本地域は、北側に渡島半島最高峰の狩場山をはじめとする高峰が連なっており、本地域内からは清流で知られる後志利別川が日本海側に西流し、太平洋側の噴火湾には清流遊楽部川が東流する。噴火湾沿岸ではホタテやコンブ等の養殖が盛んで、遊楽部川、渡島西部地域等でのサケの増殖、大沼ではワカサギ魚などの水産業が地域の基幹産業となっていることから、河川の水質を巡って森林の保全、土砂や濁水の流出に配慮した森林施策が求められている。</p> <p>また、地域内の狩場山地須築川源流部森林生態系保護地域等は、日本におけるブナ森林帯の北限近くに位置し、冷温帯性のブナを主とする森林と亜高山性のダケカンバを主とする森林とが垂直的の分布を示す原生的な天然林を有する。そして、自生の北限とされるヒノキアスナロ、南限とされるアカエゾマツ等の希少個体群保護林も有している。</p> <p>二股温泉・鉛川温泉周辺の森林や、駒ヶ岳・大沼周辺は国定公園に指定され、道立自然公園である恵山周辺・鳥崎地区はレクリエーションの森に指定しており、優れた景観を有している。また、長万部岳、狩場山等の山岳や美利河スキー場等四季を通して野外活動の場を提供している。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、二酸化炭素固定機能等の多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新 面積 154 ha 保育 面積 6,625 ha 路網整備 開設 延長 25.5 km</p> <p>・総事業費 2,138,836 千円（税抜き 2,025,890 千円） （平成21年度の評価時点 3,262,592 千円（税抜き 3,107,230 千円））</p>		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和元年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価時点からの数値の変化については、保育間伐が存置型から活用型へ移行したこと及び人件費や資材費が上昇したことにより費用がかかり増しとなり、事業量全体が結果として減少したことにより便益と費用が減少したことが原因と考えられる。</p> <p>総 便 益（B） 22,873,837 千円（平成21年度の評価時点：53,650,711 千円※） 総 費 用（C） 5,062,757 千円（平成21年度の評価時点：5,677,854 千円※） 分析結果（B/C） 4.52（平成21年度の評価時点：9.45 ※）</p> <p>※平成21年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>		

② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養^{かん}や山地保全、二酸化炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・開設によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減が図られるとともに、木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。 ・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理されており、林況は良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに適した森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、安定的に推移しており、農業については水稲、馬鈴薯、野菜類を中心とした生産が営まれ、温暖な気候を生かした園芸作物生産も盛んであるほか、酪農・養豚鶏などの酪農畜産業も営まれている。</p> <p>また、噴火湾沿岸のホタテやコンブ等の養殖に代表される漁業も盛んである。</p> <p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中、林業就業者数は、平成17年度の223人から平成27年度には270人に増加しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べて60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>また、道内では大型のバイオマス発電工場が次々に稼働し、木材需要が拡大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与していくことが求められる。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが求められる。さらに、森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりである。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により 森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(七飯町^{ななえ})</p> <p>本町の森林面積は12,927haで総面積の60%を占めており、そのうち国有林が約27%を占めることから、水土保全など森林の多面的機能への役割が重要なものとなっております。よって平成22年度～平成26年度の森林環境保全整備事業に対し、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価します。今後も同事業の継続と国有林の整備を要望いたします。</p> <p>(鹿部町^{しかべ})</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能を期待し、今後、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望します。</p> <p>(森町^{もり})</p>

	<p>本町の国有林における森林整備事業（事業期間：平成22年度～平成26年度）については、森林の有する公益的機能の持続的発揮、また、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に対して、効果があったと認められるため、これを評価します。</p> <p>（八雲町）</p> <p>本町における国有林は、行政面積の52%を占めており、国土保全や水源涵養など森林の有する公益的機能の持続増進が図られていくことが重要である。</p> <p>特に、本町は、太平洋と日本海に面しており、河川の上流に位置する国有林における水源涵養機能を維持するための森林整備事業の推進は、重要な基幹産業の一つである漁業の安定的な経営にも寄与しているところであり、これを評価する。</p> <p>また、本事業の推進は、地域の課題である担い手対策等にも効果が見込まれることから、今後の同事業の継続を期待する。</p> <p>（長万部町）</p> <p>森林環境保全整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価します。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれることから、今後とも同事業の継続を期待します。</p> <p>さらに本町の上流域を占める国有林は、水源涵養機能などを有していることから、引き続き機能の継続が図られるよう適切な森林整備をこれまでも増して、一層の整備推進を要望いたします。</p> <p>（今金町）</p> <p>本町における国有林においては、行政面積の40%を占めており、路網整備を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の有する多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことを高く評価します。</p> <p>近年、全国各地で集中豪雨による山地災害が発生しておりますが、本町においても平成28年に上陸した台風により民有林の風倒木発生、林道の法面崩壊等の被害が発生したところであります。</p> <p>本町の上流域を占める国有林の水土保持機能の維持増進のためにも、今後も適切な森林管理の推進を要望します。</p> <p>（せたな町）</p> <p>本町の森林面積は行政区域の79%を占めており、そのうち国有林が58%を占めますが、近年の地球温暖化による異常気象が増えることで災害が頻発するようになり、またその規模も大きくなっていることから、水土保持など森林の多面的機能への役割が益々重要となり、地域住民から大きく期待されているところであります。</p> <p>今後も、森林の持つ水源涵養機能が持続的に発揮できるよう、狩場山地須築川源流部森林生態系保護地域の拡充を図り、適切な国有林管理の推進を要望します。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養機能の発揮が求められている。更に、山地保全や地球温暖化防止対策のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網整備によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。 また、これらの直接的な効果のほか、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じて地域の基幹産業である農業や漁業の振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。